

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果と学位論文等審査基準の対応マップ

		卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果		
		1	2	3
学位論文審査基準	1	◎		◎
	2	◎	○	
	3	◎	◎	
	4	◎		○
	5	◎		◎
	6	○	◎	

自然科学研究科数学専攻博士後期課程の学位論文を評価するためのルーブリック

	A 優	B 良	C 可
研究課題の明確性及び先行研究を踏まえての的確性	明確な問題意識のもと、学術的に意義が認められる研究課題を適切に設定している。	一定水準の問題意識のもと、学術的に意義が認められる研究課題を設定している。	問題意識が明解でなく、研究課題の学術的な意義も十分でない。
課題を追求する方法論の適切性	先行研究を深く理解し、研究課題の論理的な考察を適切におこなっている。	先行研究を一定水準理解し、研究課題の論理的な考察をおこなっている。	先行研究の理解が十分でないため、研究課題の論理的な考察を適切におこなっていない。
研究方法及び調査方法の妥当性	先行研究を幅広く調査した上で、研究課題を分野全体の中で明確に位置付けている。	先行研究を一定程度調査し、それに基づく分野全体における研究課題の位置付けは、一定の水準を満たしている。	先行研究の調査範囲が限定的であるため、分野内での研究課題の位置付けを適切におこなっていない。
結論の妥当性	研究分野における先駆的な結果や視点を導いている。	研究分野における結果や視点の新規性は一定の水準を満たしている。	研究分野における結果と視点の新規性に乏しい。
研究の独創性と研究分野への貢献	導かれた結論や視点に、研究分野の発展への重要な貢献を与えるような独自の価値が見られる。	導かれた結論や視点に、研究分野の発展への一定水準の貢献を与えるような価値が見られる。	導かれた結論や視点に、研究分野の発展への貢献を与えるような価値が乏しい。
その他	論文内容が論理的に正しく記述されており、論文構成も的確である。また、研究分野において高度な知識を有し、国際的な研究・討論の場で活躍する研究者・専門家として自立できると認められる。	論文内容の論理性、および、論文構成は一定の水準を満たしている。また、研究分野において一定水準の知識を有し、国際的な研究・討論の場で活躍する研究者・専門家として自立できることが期待される。	論文内容の論理性は十分でなく、論文構成も的確でない。研究分野における知識は不十分であり、国際的な研究・討論に対応できる研究者としての自立は期待できない。